

家畜市場 価格の推移 (1月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	9	9	100.0%	17,280	1,080	55
	雄	220	199	90.5%	56,160	1,080	65
計	229	208	90.8%	56,160	1,080	64	
F1	雌	243	220	90.5%	173,880	33,480	60
	雄	294	267	90.8%	209,520	22,680	63
計	537	487	90.7%	209,520	22,680	62	
ホルス(5才) 雌	56	56	100.0%	375,840	118,800	728	

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	9日	104	84	80.8%	799,200	324,000	525,214
釧路	14日	223	175	78.5%	639,360	430,920	544,036
根室	15日	520	465	89.4%	813,240	385,560	584,155
豊富	16日	244	196	80.3%	641,520	433,080	551,610
十勝	22日	948	829	87.4%	1,360,800	227,880	596,651
北見	23日	322	220	68.3%	705,240	432,000	561,281
合計		2,361	1,969	83.4%	1,360,800	227,880	560,491

業務報告(1月分)

- 5日 新年互礼会
- 6日 広島方面新年挨拶廻り
- 7日 山内地域酪農新年会
- 8日 日本酪農政治連盟常任委員会
- 9日 甲奴郡酪農組合役員会
- 10日 福山倉庫資産確認
- 11日 豊平町酪農振興会新年会
- 12日 庄原地域酪農振興会役員会
- 13日 酪農ヘルパー調整会議
- 14日 中販連会員実務責任者会議
- 15日 畜産環境研修会
- 16日 山陽乳業(株)経営検討会
- 17日 三次工業団地新春臨時総会
- 18日 中国三県購買担当者会
- 19日 広島県酪農乳業定例会議
- 20日 西部ミルク会新年会
- 21日 広酪メンバークラブ監査会・役員会
- 22日 J A農政役員部課長会議
- 23日 西部酪農会研修会
- 24日 普及協会運営委員会
- 25日 ときめき隊新年会
- 26日 グリーンウインズさとやま新年会
- 27日 学乳推進会議
- 28日 検定指導者研修(二日間)
- 29日 広島市酪農振興協議会懇親会
- 30日 千代田町酪農協議会役員会
- 31日 第二回生産基盤強化対策委員会
- 1日 広酪ホルスタイン改良同志会三次支部総会
- 2日 微裁断試験報告会
- 3日 西部酪農会新年会
- 4日 中販連理事会
- 5日 ひろらく女性グループ連絡協議会委員会
- 6日 甲奴郡酪農組合総会・新年会
- 7日 あきたかた酪農振興会新年会
- 8日 西部DMS入力会
- 9日 庄原市酪農振興会新年会
- 10日 広島県獣医畜産会館理事會・臨時総会
- 11日 広酪ホルスタイン改良同志会総会
- 12日 畜産クラスター打合せ会
- 13日 TMR利用者対象意見交換会
- 14日 第十一回理事會

編集後記

- ▼政府・自民党は二月九日、農協改革案(骨格)を纏め、農協法に基づく全中を平成三十一年三月三十一日までに一般社団法人に転換し、地域農協への会計監査権限を外すことなどが柱とされた。
- ▼J A全中の単位農協(地域の農協)への監査権・指導権を廃止し、農協の自由度を高め、各農協が価格やサービスを競い合えるようにすることが目的のようだ。
- ▼論点の一つだった准組合員の農協事業の利用制限は、結論先送りとなっている。
- ▼今後、骨格に基づいて同法改正案の作成が進められ今国会に提出される運びにある。
- ▼農業競争力を高め成長産業への助長を促すことを焦点としており、根底には農業者間の自由競争を高めることにあるのだろうか!?
- ▼農協の「ぬるま湯」、「茹で蛙」状態からの脱却と挑戦を求められているものと考えたい。
- ▼農協改革、広酪のような専門農協にはどのような影響が及ぶのか?
- ▼現在、毎年定例で受けるJ A監査機構による監査の在り方の変更、自由競争の視点から加工原料乳暫定措置法との関係など様々な点も気になる。
- ▼こうした矢先、二月十日付けの日刊「酪農乳業速報」で「根室管内の酪農二法人がMMJに生乳出荷」と

市町別生乳受託量の進捗状況(1月)

(単位：トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	26年度累計	前年比(累計)
庄原市	901.8	21.7%	93.1%	9,296.7	97.6%
三次市	762.2	18.4%	90.9%	7,907.1	93.1%
世羅町	573.5	13.8%	102.5%	5,674.4	106.2%
北広島町	418.1	10.1%	94.5%	4,061.6	88.0%
安芸高田市	387.7	9.3%	100.4%	3,784.4	98.5%
東広島市	372.7	9.0%	100.7%	3,660.6	101.6%
府中市	209.2	5.0%	90.9%	2,225.7	92.4%
福山市	122.9	3.0%	91.7%	1,234.4	95.7%
三原市	104.3	2.5%	102.7%	982.5	92.3%
広島市	97.4	2.3%	52.2%	985.5	52.2%
神石高原町	82.4	2.0%	95.3%	842.4	89.3%
呉市	59.1	1.4%	98.5%	540.6	104.2%
廿日市市	59.1	1.4%	96.8%	582.8	94.5%
合計	4,150.3	100.0%	93.8%	41,778.6	94.6%

プール乳価(1月)

1月分プール乳価	前月分プール乳価	前月対比
106.331 円/kg	107.170 円/kg	99.22%

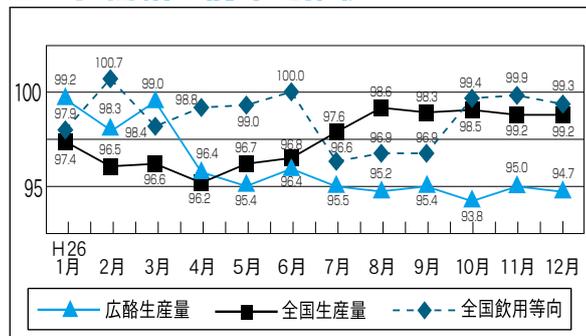
生乳受託実績(1月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	43	12	45	42	142
生乳出荷量(トン)	1,498.3	431.8	962.3	1,257.9	4,150.3
前年同月対比(%)	94.0%	100.4%	89.4%	94.9%	93.8%
前月対比(%)	102.6%	101.2%	102.6%	101.9%	102.3%
生乳出荷累計(トン)	15,309.4	4,201.2	9,414.3	12,853.7	41,778.6
広酪構成比(%)	36.6%	10.1%	22.5%	30.8%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(12月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	49,753	880	29.0%	56.5
2	三次市	34,036	736	19.8%	46.2
3	安芸高田市	20,249	376	11.8%	53.8
4	北広島町	15,998	409	9.3%	39.1
5	府中市	15,382	208	9.0%	73.9
6	世羅町	8,324	570	4.9%	14.6
7	福山市	6,894	119	4.0%	57.9
8	東広島市	6,538	366	3.8%	17.8
9	三原市	5,384	101	3.1%	53.3
10	神石高原町	3,775	77	2.2%	49.0
11	廿日市市	3,439	56	2.0%	61.4
12	広島市	1,434	95	0.8%	15.0
13	呉市	313	60	0.2%	5.2
合計		171,519	4,053	100.0%	41.8

生乳需給の前年比推移(12月) (単位:%)



冠する記事が目にと止まった。
 ▼ M M J に切り替える二法人の年間出荷乳量は合計約八千トン、日量出荷は約二十トンとなる。
 ▼ この二法人は事業協同組合を立ち上げ、四月一日からアウトサイダー系の生乳販売会社 M M J (群馬県伊勢崎市) に生乳を出荷する。
 ▼ 受取乳価は、全量飲用向け取引として九十円/kg(消費税別途)。
 ▼ 事業協同組合の関係者は「若者を生産現場に呼び戻すには、酪農を儲かる産業にしなければならぬ。厳しさばかり強調しては、酪農を農や担い手不足を早めるだけだ。事業協同組合を通して、売上増加やコスト低減を果たし、儲かる酪農をアピールしたい。競争原理が働けば、北海道酪農全体の活性化にもつながる」としている。
 ▼ 「酪農を儲かる産業」、「厳しさばかり強調しては、酪農や担い手不足を早める」との言葉には共感できる。
 ▼ 広酪は、総合農協とは異なる専門農協として、共感出来る前述の言葉を受けて、知恵を出し、組合員の負託に応えて行くべきと考える。
 ▼ 広酪は、来る三月六日に生乳出荷組合員を対象とする「座談会」を開催する。ここでは、組合員の皆さんからの前向きな提案や要望をお聴きしたい。
 ▼ 酪農で稼いで戴くための次なるステップに向かうためにも・・・！！